

令和6年3月15日

各校テニス部顧問殿

神奈川県高体連テニス専門部

委員長 早乙女大道

全国総体および地区総体でのルール変更に伴う神奈川県の対応について

先日の顧問総会の際に連絡しましたが、令和6年度より全国総体および地区総体でのルール変更が行われることになりました。各都道府県大会における移行については、各都道府県専門部に一任されているため、神奈川県高体連テニス専門部としての対応を協議し、以下のように大会を実施することになりましたので、ご確認ください。

【全国高体連テニス専門部からの連絡内容】

以前より解決すべき課題として熱中症対策、選手及び監督そして参加するすべての方々の健康管理、大会開催時間の短縮、日本テニス協会や世界の大会とのルールの統一等の解決に向けて様々な対応をしておりました。大会日程や試合方式についても同様に工夫を凝らし、皆様のご協力のもとに実施することができました。この一連の動きとして、この度下記の内容についてルール変更を行うこととしましたのでお知らせいたします。

全国総体および地区総体でのルール変更

① サービスのレット（規則22）

ノーレットルールの採用（JTA テニスルールブック 2023 p. 32）

対象は団体戦および個人戦すべての試合

② ノード方式の採用（JTA テニスルールブック 2023 p. 59）

対象は個人戦ダブルス、ただし1セットマッチでは採用しない

【神奈川県の対応】

神奈川県高体連テニス専門部としては、十分な周知期間を取らずにルールを変更することは困難と考え、令和6年度の春季大会である「神奈川県高等学校テニス大会（全国総体・関東大会予選）」では、上記①②について採用しないこととします。

尚、令和6年度の新人大会以降の取り扱いについては、神奈川県高体連テニス専門部としての検討を進め、ルール変更を行う場合には十分な周知期間を取った後に変更することとします。

【連絡事項】

令和6年度より、全国総体の団体戦について4名での出場が認められることになっていますので、併せてご確認ください。